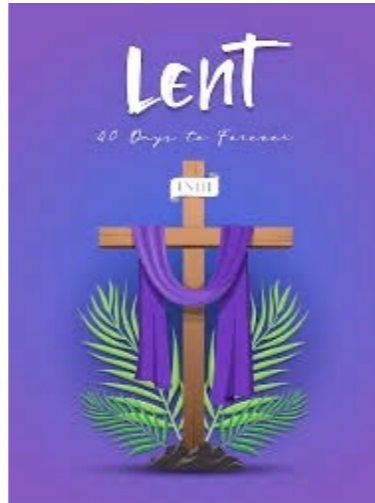


2023年5月 教会行事予定表		
曜	午 前	午 後
1 月		
2 火	OPC 10:00	
3 水		
4 木		
5 金		
6 土	ミサ 10:00 掃除 (蘭岳)	
7 日	ミサ 9:30勝谷司教ミサ 典礼(蘭岳) マリア祭	
8 月		
9 火	OPC 10:00	
10 水		
11 木		キリスト教講座① 18:00
12 金	キリスト教講座 (登別教会) 10:00	
13 土	ミサ10:00 運営委員会 掃除 (蘭岳)	
14 日	集会祭儀 9:30 典礼 (太平洋) 例会日	
15 月		
16 火	OPC 10:00	
17 水	こっとな倶楽部 10:00	
18 木		キリスト教講座① 18:00
19 金	キリスト教講座 (登別教会) 10:00	
20 土	ミサ10:00	
21 日	集会祭儀 9:30 主の昇天 (祭日) 典礼(白鳥)	
22 月		
23 火	OPC 10:00	
24 水	こっとな倶楽部 10:00	
25 木		キリスト教講座① 18:00
26 金	キリスト教講座 (登別教会) 10:00	
27 土	ミサ 10:00 キリスト教講座②11:00 掃除 (蘭岳)	
28 日	集会祭儀 9:30 典礼 (楽山)	
29 月	司祭月例会	
30 火	OPC 10:00	
31 水	こっとな倶楽部 10:00	

2023典礼当番の地区表					
		4月	5月	6月	7月
1 週	ミサ	楽山	蘭岳	太平洋	白鳥
2週	集会	蘭岳	太平洋	白鳥	楽山
3週	集会	太平洋	白鳥	楽山	蘭岳
4週	集会	白鳥	楽山	蘭岳	太平洋
5週	ミサ	白鳥			太平洋
	掃除	白鳥	蘭岳	楽山	太平洋



2023年度 女性部部长選挙のお知らせ

・女性部部长選挙の日程が決まりましたのでお知らせいたします。

・投票期間は4月2日(日)から4月23日(日)のミサ前までです。

・女性部長1名を投票用紙に記入し廊下の柵の投票箱に投函して下さい。

注意：
香島の子さんは2023役員副部長に選任され記入出来ません。
杉岡亜美さんは任期終了のため記入出来ません。

2023年度 教会総会のお知らせ

4月30日のミサ後に2023年度の教会総会が行われます。多くの方々の参加を希望します。



2023
4/9

ひとつになるう

カトリック東室蘭教会広報誌 毎月第2日曜発行



〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
☎0143-44-3851

三日目に死者のうちから復活された

EASTER DAY

聖パウロ女子修道会 (女子パウロ会) 公式サイト

イエス・キリストの復活は、キリストを信じる私たち一人ひとりにとって、信仰の土台であり、頂点となる真理です。イエス・キリストが復活されたという真理は、彼の十字架での死と並んで、キリストの過越の神秘の本質的要素であり、最初から、教会が信者に伝えてきたことでした。

1 歴史的出来事であると同時に超越的出来事である、キリストの復活

イエス・キリストが復活されたことは、現実起きた出来事です。イエス・キリストは紀元30年頃、十字架に付けられて死に、復活なさいましたが、その約30年後に、聖パウロはコリントの信徒に宛てて、キリストが死んで、3日目に復活し、ペトロや12使徒たちに現れたことを手紙に書いています (Iコリント15.3~4)。パウロは、このイエスの復活の事実を、伝承によって知ったと話しています。

◆空の墓

イエスの復活の出来事として語る聖書の箇所、必ず「空の墓」ということが指摘されています。婦人たちがイエスの葬られた所に行ったのですが、お墓が空になっていました。その報告を聞いたペトロが、ついで、ヨハネがイエスの墓が空になっていることを確認しました。

イエスの弟子たちが、「空の墓」を見たことが、復活を認める第一歩となりました。兵士たちが墓を厳重に警備していたにもかかわらず、お墓が空っぽになっているのを見て、弟子たちは、イエスの体がないのは人間にできることではないことを悟りました。また、イエスの復活が、ラザロの復活の時のように、一時的なものでないこともわかったのです。

◆復活者の出現

マグダラのマリアと婦人たちは、イエスの遺体に香油を塗ろうと、お墓に行き、復活したイエスにお目にかかりました。彼女たちは、主の復活を伝える最初の使徒として、弟子たちにそのことを伝えました。その後、復活されたイエスはペトロに、そして他の使徒たちにお現れになりました。ペトロと使徒たちは、イエス・キリストの復活の証人として、教会の礎石となり、初代の教会共同体を育てていくこととなります。

復活のキリストの証人になったのは、使徒たちだけではありませんでした。パウロにも現れ、500人以上の信徒も復活のイエスに出会う恵みを得たのです。

私たちを含む後の時代のすべての信者は、ペトロや、復活の証人となった人々の証言に基づいて「主は本当に復活された」と、喜びをもって宣言するのです。

◆キリストの復活した状態の人性

復活したイエスに最初に出会ったとき、使徒たちは信じる事ができませんでした。そんな彼らに、「何か食べ物はあるか」と言われ、彼らの前で食事をなさったり、信じられないトマスには、ご自分の傷に手を入れさせました。このように、復活なさったイエスの体は、十字架に付けられた、まさにその体そのものであることをお示しになりました。しかし同時に、時間と空間の壁を超越しておられ、鍵がかけられた部屋に自由に出入りできる体でもあることを示されました。

復活なさったイエスの体は、イエスが奇跡によって、ラザロやヤイロの娘を復活させられたような体



ではありませんでした。彼らは、ある時、死んでいきました。しかし、イエスの体は聖霊に満たされ、栄光に満ちて神のいのちを生きておられるのです。

◆超越的な出来事としてのイエスの復活

私たちは、「空の墓」と、復活されたイエスに出会ったという「復活の証人」たちの証言によって、イエス・キリストが復活されたことを信じています。イエス・キリストが、具体的にどのように復活されたかについて、誰も知りません。イエス・キリストが栄光のいのちに移行されたことは、私たちにとって、歴史を超越している神秘として残されています。私たちの信仰の神秘の核心となるものなのです。



2 聖三位のみわざとしての復活

イエス・キリストの復活は、私たちの信仰の対象であることは、言うまでもありません。それだけではなく、イエス・キリストの復活に、私たちは、三位一体の働きを見ることができるのです。御父はキリストを復活させられ、御子イエス・キリストの人性を、体とともに三位一体のうちに完全に迎え入れられました。

3 キリストの復活の救済的意義

キリストの復活は、旧約聖書の約束の成就であり、生存中のイエスがなされた約束の成就です。聖書の中に「聖書に書いてあるとおり」という言葉がしばしば出てきますが、それは、キリストが復活なさり、預言をことごとく成就なさったことを示しているのです。

また、イエス・キリストの復活によって、イエスが本当に神であることを示されました。イエスの復活は、ご自身が神の子であり、神であることをあかしされたのです。キリストの復活は、神の御子が人となられたという受肉の神秘に、密接に結ばれています。復活は、神の永遠のご計画による、受肉の完成なのです。

復活の神秘には2つの側面があります。キリストは、死によって私たちを罪から解放し、その復活によって私たちに新しいいのちを与えてくださいました。復活は、神のいのちの勝利なのです。

キリストの復活は、ご自身のためだけではありませんでした。罪によって、死に定められていた私たち人類一人ひとりのために、死んで復活され、私たちの救いとなりました。これによって、私たちは義とされ、神の恵みの中に生きるものとされました。それはまた、私たちが、イエス・キリストの兄弟となり、神の養子とされたことをも意味しています。

私たちは、本来、イエス・キリストの兄弟ではありませんが、キリストが復活されたことによって、神のひとり子の命をともに生きるものとされたから、イエスの兄弟とされたのです。

キリストが復活されたことは、それだけにとどまらず、私たちの将来の復活の始まりであり、源なのです。キリストは復活をとおして、死の束縛より強い、永遠のいのちへの希望を与えてくださったのです。キリストの復活においてこそ、福音は完成し、そこを出発点として信仰が生まれるのです。

2022年度第11回運営委員会 議事録

2023年4月2日(日)11:20~12:40

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報告:

3.1, 4.5.6月の予定

- 4月 2日(日) 受難の主日(枝の主日)、ミサ(楽山地区典礼当番)、共同回心式
ミサ後4月の運営委員会
- 4月 6日(木) 聖木曜日(主の晩餐) ミサ
- 4月 7日(金) 聖金曜日(主の受難)、聖地のための献金
- 4月 8日(土) 聖土曜日、復活徹夜祭 ミサ
- 4月 9日(日) 復活の主日、ミサ(蘭岳地区典礼当番)、
- 4月16日(日) 復活節第二主日(神のいつくしみの主日) ミサ(太平洋地区典礼当番)
- 4月23日(日) 復活節第三主日、集会祭儀(白鳥地区典礼当番)、ミニ大掃除
- 4月30日(日) 復活節第四主日、ミサ(白鳥地区典礼当番)、教会総会
- 5月 7日(日) 復活節第五の主日、司教様司式によるミサ(蘭岳地区典礼当番)、茶話会
ミサ後5月の運営委員会
- 5月13日(土) ミサ後5月の運営委員会
- 5月14日(日) 復活節第六の主日、集会祭儀(太平洋地区典礼当番)、例会日
- 5月21日(日) 主の昇天(祭日)、ミサ(白鳥地区典礼当番)
- 5月28日(日) 聖霊降臨の主日、集会祭儀(楽山地区典礼当番)
- 6月 4日(日) 三位一体の主日、ミサ(太平洋地区典礼当番)、ミサ後6月の運営委員会
- 6月11日(日) キリストの聖体、集会祭儀(白鳥地区典礼当番)、例会日、役員選挙投票
- 6月18日(日) 年間第十一主日、ミサ(楽山地区典礼当番)

6月25日(日) 年間第十二主日、集会祭儀(蘭岳地区典礼当番)

毎週の行事(変更の場合あり)

- ・火曜日午前10時~ OPC(パソコン教室)
- ・水曜日午前10時~ こっこん倶楽部
- ・木曜日午後6時~ キリスト教講座
- ・土曜日午前10時~ ミサ、その後第二及び第四土曜日はキリスト教講座

3.2 5月からのミサの予定について

主日のミサの予定は、第1主日:東室蘭教会、第2主日:登別教会、第4主日:室蘭教会
第3主日は、3教会持ち回り:5月(登別教会)、6月(室蘭教会)、7月(東室蘭教会)
その後は、この順序で持ち回り。
第5主日:4教会合同ミサとする。当番は今後検討(ブロック会議で)
平日のミサは、東室蘭教会:土曜日、室蘭教会:木曜日が希望だが調整中、登別教会:希望なし

3.3 ライヤ神父様の休暇帰国について

予定は確定ではないが、7月上旬から8月下旬の予定。この間の司祭の派遣は未定。
最悪すべて集会祭儀の可能性あり。ライヤ神父様は8月中には再来日の予定です。

3.4 財務報告(別添資料参照)

年間の財務状況の報告があり、月定献金を含め収入は予算額を上回ったが、光熱水費等の高騰もあり、支出も予算を上回ったため、今年度は特定基金への繰り入れは出来ないことを確認した。

4. 議事:

4.1 役員選挙の結果(3/26)

3/26開票の役員選挙の結果は、投票総数36票で当選者は
運営委員長: 高科 優 様 (次点: 稲澤智明様)
副運営委員長(男): 櫻庭 靖尚 様 (次点: 杉岡正敏様)
副運営委員長(女): 香島のり子 様 (次点: 杉岡亜美様)
(会計) 監事: 竹原 徳男 様、水戸 祐介 様 (次点: 高科美智子様、小林和夫様)
以上の結果を運営委員会として承認した。

4.2 2023年度教会総会について(確認)

4月30日(日) ミサ後

4.3 総会資料について

・規約及び細則の改正について
規約の改正は、改正するとすれば抜本的な改正が必要であり、時間をかけて検討することとし、今年度は規約の改正は行わず、役員選出細則(得票同数の場合の取り扱い)、教会施設利用細則(葬儀等手伝い者への対応)及び慶弔細則(入院期間の変更)のみを改正することとした。
総会資料: 年度活動報告、行事予定、決算報告等を確認した。予算案は財務と運営委員長とで、作成することとし、資料の最終確認を終えたこととした。
各種細則の改正は総会の審議事項ではなく、運営委員会で決定できるため、改正後の細則を規約を含め、例年通り総会資料に添付することとした。

4.4 聖週間の典礼について

すでにお知らせしている通りであり、朗読者等は例年通り、掲示板で協力者をお願いしているが、最終的には典礼から各自をお願いすることとした。
徹夜祭、復活祭ともミサ後には、今年もミニパーティーをすることとした。

4.5 3月からのミサ、集会祭儀の典礼当番について(確認) 4Pの表をご覧ください

4.6 その他

- ・勝谷司教様来訪(5/7)への対応
茶話会とする(確認)。司教様の昼食は用意する。
- ・マリア祭について
司教様が来られるが、5/7にすることとした。
- ・教会のホームページのサーバー利用を今年度も継続することとした。
- ・ウクライナ支援の募金箱の取り扱いが議論されたが、いましばらくは設置することとし、毎月定期的に協力を呼び掛けることとした。

5. ライヤ神父の予定

- 4月24日 月例会
- 25日 司教顧問会(午前)、司祭評議会(午後)

6. ミサ・集会祭儀の予定

- 6. ミサ・集会祭儀の予定、
4/2 ライヤ師 4/9 ライヤ師 4/16 ライヤ師 4/23 集会 4/30 ライヤ師
5/7 勝谷司教、ライヤ師 5/14 集会 5/21 集会 5/28 集会、

